

キャラクター名
テッド・オリヴァー

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス	ワークス	歌手	カヴァー	歌手
	オルクス				
オプション	ハヌマーン	年齢	25	性別	男
覚醒	感染	衝動	破壊	初期侵食率	39%
出自	兄弟	経験	ニュース	邂逅	旧友

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	25
肉体	1	0	0			1	行動値	21
感覚	2	1	0			3	(非装備時)	21
精神	3	0	0			3	戦闘移動	26
社会	2	0	0			2	全力移動	52

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC			交渉		1
回避			知覚			意志	2		調達		13
運転:			芸術: 歌唱	10		知識: "輪廻の獣"	2		情報: ウェブ		1
運転:			芸術:			知識: "アイアス"	2		情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
携帯電話	
カジュアル	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
ロイス: 輪廻の獣-アルマレグナム	P 執着	N 悔悟		
経験/WH: 兄の同僚(先輩)	P 遺志	N 悔悟		
邂逅/GR: エドワード・リヴィア	P 尽力	N 嫉妬		
PC間: アレックス	P 誠意	N 無関心		
シナリオ: キョーホル・フルンティン	P 感服	N 隔意		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 30 残り財産P: 30

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
先手必勝	4	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: 行動値+[Lv*3],侵食率基本値+4								
エンジェルヴォイス	2	4	Xジャー	視界	単体	交渉	-	
効果: 対象の次のXジャーC値-1(下限6),G+Lv個								
光指す場所	1	2	Xジャー	視界	単体	自動	リミット	
効果: 対象が次に行うXジャー判定+5,前提:導きの華Lv4								
導きの華	4	3	Xジャー	視界	単体	RC交渉	-	
効果: 対象の次のXジャー達成値+[Lv*2]								
要の陣形	2	3	Xジャー	視界	3体	シンドローム	-	
効果: 対象を3体に変更,シリアLv回								
音波調律	1	2	Xジャー	視界	-	交渉	-	
効果: 対象の暴走以外のBS回復								
原初の紫: 孤独の魔眼	2	4+1	オート	視界	EA30p	自動	-	
効果: 自身を含む対象: 範囲・範囲(選択)の敵の攻撃判定前に使用し,対象を自身のみに変更,シリアLv回,侵食率基本値+4								
生贄の蛇	2	3	オート	視界	単体	自動	-	
効果: 対象:単体の攻撃判定直後に使用,対象を自身に変更,BS重圧を受ける,シリアLv回								
原初の白: 冥府の棺	1	2+2	オート	至近	自身	自動	80%	
効果: 重圧でも使用可,暴走以外のBS1つ解除,								
イージーフェイカー: ドクタードリトル	1	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: どの言語もわかる,侵食率基本値+1								
七色の声	1	1	Xジャー	至近	自身	自動	-	
効果: 声を別人に変える,見破る場合知覚対決								
蝙蝠の耳	1	-	Xジャー	至近	自身	自動	-	
効果: 聴覚領域を拡大する								
空の楽器	1	-	Xジャー	視界	EA79p	自動	-	
効果: 任意の音声や音楽を発生させる								

■プロフィール■
 年齢:25 性別:男 身長:175 体重:62 星座:さそり座 血液型:AB
 誕生日:11/20 好きなもの:兄、紅茶、兄の友人 嫌いなもの:自分、血、死体
 苦手なもの:じっと見られること、テッドを評価する人

■設定■
<http://kano.ojaru.jp/trpgdate/dx3rd/ted-p.txt>(長かったのを纏めただけ)

スティープン・オリヴァー: 5つ年の離れたテッドの兄。享年28歳。シンドローム不明

<イージーフェイカー: ドクタードリトル>でいつでもどの言語も理解でき、会話も困ることはない。
 <空の楽器>は伝達に最適だ。音や会話を再現すれば疑うものもないだろう。
 山奥の家にいる時は<不可視の領域>と<無音の空間>で存在ごと隠れ、<蝙蝠の耳>で周囲を探る。
 歌手活動では<七色の声>で兄と共に舞台上に立ち、<傍らの影法師>で鬼の影と戯れ、崩れそうな心を支える。
 <仕組みれた幸運>で因子を仕込んで自分の有利な方へ導く。悪事には使用しないが、これがなかなか使える。

兄を好きな人に、兄を知ってくれた人に。兄を忘れないでもらうために、兄の願いのためにステージに立っている。
 『兄と共に歌う』その兄の願いが、心に突き刺さり、悲鳴をあげ、軋み、痛む。
 そうして独りで歌うたびに兄はここにはいないと痛感する。 虚しさが際立って仕方がない。
 もはや兄の死の謎も願いもどうでもいいのかも知れない。 早く楽になりたいと。
 だけでも兄の願いを叶えたい。でももう消えてしまいたい。 身動きが取れない選択肢にくぐると思いが纏まらず。
 どうして、どうして、どうして。兄は自分の犠牲になった。自分さえいなければ兄は自らを犠牲にしなかった。

